

③ 農協等が中心となって複数市町村が広域連携して被害対策に取り組む事例

「みさと町」の名前で県を越えた連携で促進する鳥獣被害対策

事例対象地：三重県

団体：三重県津市美里町

ホームページ：info.city.tsu.mie.jp/

キーワード：

広域連携、女性活躍、

地域活性化、普及啓発

1. 概要

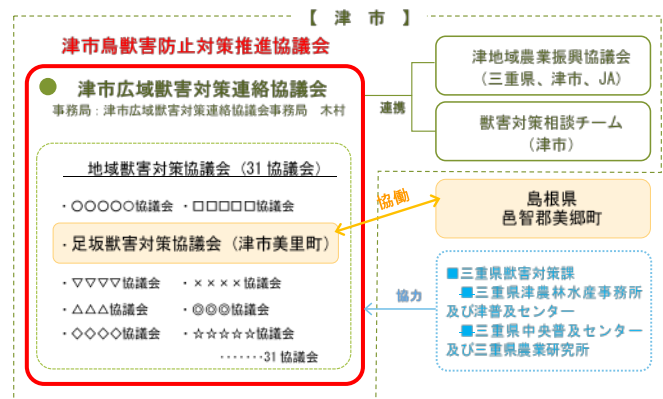
三重県津市美里町と島根県美郷町は同じ「みさと町」で交流がはじまり、地域活性化や獣害対策をきっかけに両町の協働が始まった。その結果、鳥獣被害対策が促進され、遠隔地であっても連携することで鳥獣被害対策に寄与する一例である。

2. 取組の経緯

津市職員が獣害対策や地域ブランド創出の研修で美郷町を訪れた際、取材に訪れていたNHKの制作担当者とともに、獣害対策や地域づくりを視察したことをきっかけに、同じ「みさと」で女性を中心とした地域活性化に取り組む美里町へ取材があった。この繋がりを機に、両町間の交流が始まった。

3. 実施体制

津市鳥獣害防止対策推進協議会の下に31の地域獣害対策協議会があり、さらにこれらが相互に連携するために津市広域獣害対策連絡協議会を設置している。地域に寄り添った対策を推進するため、市役所内に「獣害対策相談チーム」の設置や、三重県の研究施設の協力のもと獣害対策を実施している。美里町の地域活性化に向けて、美郷町の女性達に刺激を受けた足柄地区の女性部が中心となっている。また美郷町との包括連携協定を結んでいる。



4. 取組内容と成果

● 美里町と美郷町の協働と地域活性化

- ・美里町の希少な大豆「美里在来」と美郷町のイノシシ肉ブランド「おおち山くじら」をコラボさせるプロジェクトを立ち上げ、美里町の足坂農家組合女性部「まめファミリー」と美郷町「おおち山くじら」が中心となり、「大豆とイノシシのキーマカレー」を商品化した。

● 鳥獣被害対策の包括的連携に関する協定

- ・津市と美郷町は、令和元年6月に鳥獣被害問題に対し、人・物・技術・情報など幅広い連携協力と地域間交流を図ることなどを目的として本協定を締結した。